

令和2年度NIE実践報告（実践校4年目）

出水市立大川内小学校

1 テーマ

少人数・複式学級における確かな学力の定着を図る学習指導の在り方
～ 言語活動の充実を通して ～

2 NIEの目標

【低学年】

- 新聞の写真や文字等に興味をもち、新聞に親しむことができる。
- 新聞を活用して語彙力向上を図ることができる。

【中学年】

- 新聞に対する興味や関心を高め、新聞に慣れ親しむことができる。
- 新聞記事を読み、自分の考えをもち、感想を書くことができる。

【高学年】

- 新聞各社の同一記事を比べて読んだり、記事と自分の考えを比べたりして感想や意見等を書くことができる。
- 確かな学力の定着を図るために、授業で学んだことを生かして、新聞記事を使ったワークシート（活用力を高める問題）に取り組むことができる。
- 新聞の学習問題（外国語・プログラミング教育）に対して、主体的に取り組むことができる。

【職 員】

- 新聞を活用した指導法について研修を深め、各学年の発達段階に応じて実践する。また、業務改善のひとつとして、新聞を利用することで教材作成の時間削減につなげる。

3 具体的取組

(1) NIE教育に関する職員研修（研究授業含む）

(2) 全学年共通の取組

- ア NIEタイムの実施（第2土曜日の朝の時間に実施 毎月1回）
- イ 家庭学習の工夫
- ウ 新聞社への投稿
- エ NIEコーナーの設置

4 研究の実際

(1) NIE教育に関する職員研修及び授業

本校は、NIE教育実践校4年目である。今年度は、下記のような職員研修及び授業を行った。

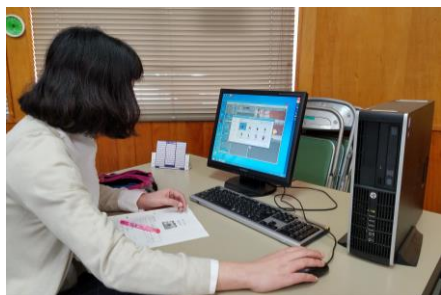
月	対象者	教科等	内 容
4	全職員	職員研修	NIE教育の進め方と共通理解
5	全職員	職員研修	プログラミング教育（スクラッチ）
5	5・6年	総合的な学習の時間	プログラミング教育（スクラッチ）
6	3年	国 語	情報「引用するとき」（引用して文を書く）
9	5年	国 語	新聞を読もう
10	3年	国 語	修飾語（修飾語を使って書く）
10	5・6年	学 活	人権教育（人権に関する記事を読んで考える）
10	5年	国 語	説明文（資料を用いた文章の効果について考える）
10	6年	外国語	Unit 5（絶滅危惧種について考える）
12	5・6年	国 語	人権作文を読み、感想を交流する
1	3年	国 語	説明文（文章を要約する）

ア 職員研修

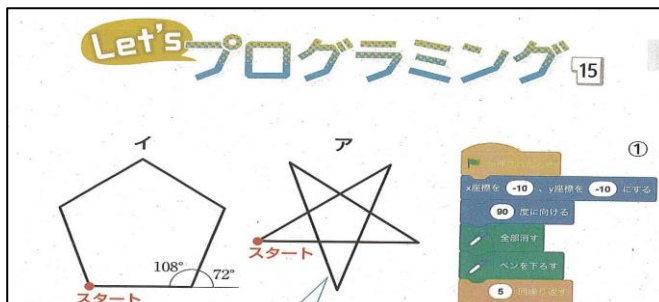
4月、NIE教育の職員研修を実施した。昨年度までの取組確認と今年度の目標や取組について共通理解を図った。

5月の臨時休業期間中、プログラミング教育に関する職員の理解とスキルを高めるために、プログラミングツール「Scratch（スクラッチ）」を使った研修を行った。Scratchの基本的な操作方法を学んだ後に、南日本新聞（毎月第2、4金曜）に掲載されている「Let's プログラミング」の記事を活用して図形を描く演習を行った。Scratchを行うのは、半数以上の職員が初めてだったが、新聞を使った演習を行うことで、初心者職員も楽しみながらプログラミングについて学ぶことができた。また、新聞を利用することで教材作成の時間削減にもなり、業務改善につなげることができた。

【「プログラミング教育」研修の様子】



【南日本新聞「Let's プログラミング」記事】

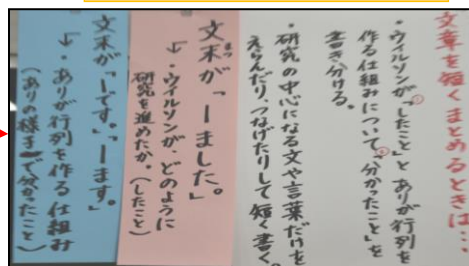


イ 新聞を活用した授業

(ア) 3年国語科授業（4・5／7時：R3.1月）

単元(教材)	読んで感想をもち、伝え合おう（「ありの行列」：光村図書3年下）
目 標	○ 文章全体を要約し、研究レポートにまとめることができる。
展 開	- 前時の振り返りをする。 - 本時の課題を確認する。 ウィルソンになって、研究レポートを書こう。 - 要約の方法を確認する。 ① ウィルソンがしたことと、ありの様子について書き分けることが大切。 ② 文章を短くまとめるときは、大事な言葉や文を落とさずにまとめることが大切。 - 中・終わりの段落を読む。 - ウィルソンがしたこととありの様子について確認する。 - それぞれの段落の中で、大事な言葉や文を確認する。 - それぞれの段落の中で、大事な言葉や文を使って、要約する。 - 本時のまとめをする。 - 本時の学習を振り返る。 - 新聞を読み、要約する。

【掲示物「要約の方法」】



【本時の学びと連動した新聞ワーク】

ネズミをなぜ落とすか

① 「問い」と「答え」が落を見つかけよう。

「問い」……

「答え」……

② 十二支では、なぜネズミのかについて、短くまとめる

※ 着目するだん落……

(イ) 6年外国語科授業 (7/8時 : R2. 10月)

単元(教材)	Unit 5 We all live on the Earth. (NEW HORIZON Elementary 6: 東京書籍)
目 標	○ 絶滅危惧種の住んでいる場所について、既習の表現を使ってやり取りすることができる。また、自分にできることを考え伝え合うことができる。
展 開	1 はじめの挨拶と「Daily Questions」をする。 ・天気や日付、曜日、時刻を答える。 2 Small Talk をする。 Where do monkeys live? Monkeys live in the forest. 3 本時のめあてを確認する。 環境を守るためにどんなことができるか考え、紹介し合おう。 4 P48 の資料を見て、絶滅危惧種の動物について知る。 5 絶滅危惧種に関する新聞を読む。 6 新聞にある資料やグラフを使って、やり取りをする。 (1) 絶滅危惧種の動物の言い方を確認する。 (2) やり取りの仕方を確認する。 (3) ペアでやり取りをする。 A: Where do (生き物) live? B: (生き物) live in the (国名). 7 新聞記事の感想を書いて交流する。 8 本時の学習の振り返りをする。 9 家庭学習の確認と終わりの挨拶をする。 本時の学びと連動した新聞記事 感想 Where do オランウータン live? オランウータン live in マレーシア 生き物 生き物 国名

(2) 全学年共通の取組

ア NIE タイムの実施

本校では、毎月第2土曜日の朝の時間に「NIE タイム」を設け、新聞を使った学習を行っている。低学年は、新聞に親しめることが目標なので、カタカナやアルファベットの文字探しをしたり、写真を使ってタイトルを考えさせたりする活動を継続して行った。中学年では、興味のある新聞記事を事前に選ばせ、記事を読んだ感想を書くようにした。条件を提示し、条件に合った方法で書く活動を行った。回数を重ねるにつれ、感想を書くスピードも速くなってきた。

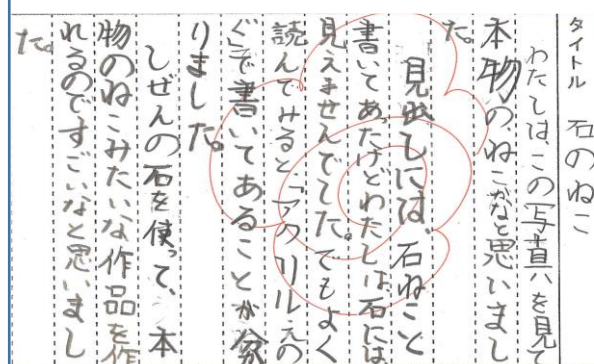
【3年 新聞感想文を書く条件】

- ・初め → 一目見て引きつけられたこと (写真・見出し)
- ・中 → 記事を読んで、分かったこと
- ・終わり → 感想や自分の考え

【1年10月「カタカナ探し」】



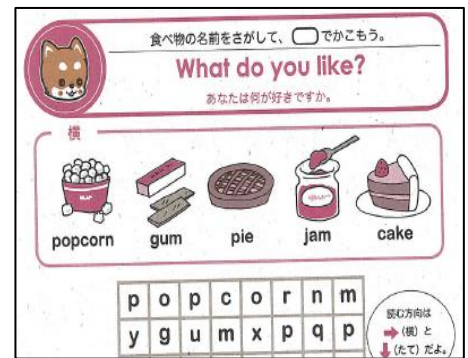
【3年10月「新聞感想文」】



高学年では、新聞のコラムを使って、文章構成を確認し筆者の考えに線を引かせたり、小見出しを書かせたり、意見文を書いたりする活動を意図的・継続的に行っている。NIE タイム以外にも、国語の学習の終末で、新聞を使った類似問題に挑戦させた。授業で学んだことを生かし、新聞教材で活用したことにより、学力向上にもつながった。

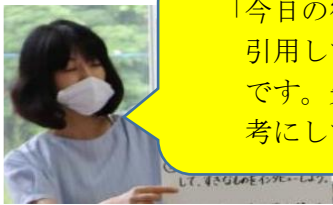
本校は、令和元年度から北薩地区「外国語」研究指定校として「外国語」の研究も行っている。高学年では、南日本新聞に掲載されている「パズル・ゲームであそぼう英語」(数研出版刊)の記事を使い、楽しく英語の習得と活用が図れるようにしている。

【パズル・ゲームであそぼう英語】



イ 家庭学習の工夫

授業で学んだことを定着させるために、新聞ワークや新聞を読んで意見文を書く家庭学習に取り組ませた。授業と関連のある類似課題を与えたことにより、学習内容の定着に役立った。



「今日の宿題は、新聞記事を引用して、文章を書くことです。先生のモデル文を参考にして書きましょう。」

【3年国語：「引用する」教師作成モデル文】

教師のモデル文

新聞記事

ウ 新聞社への投稿

南日本新聞ひろば欄の「若い目」や「子どものうた」等への作品投稿を積極的に呼びかけた。子供が作文や詩、俳句の表現を考えるいい機会になった。本年度は、31人中10人の子供の作文や詩が掲載された。掲載された子供には、新聞記事と顔写真をラミネートしてプレゼントしている。



5 成果と課題

【成果】

- 実践研究4年目の実績をふまえ、全職員で共通理解、共通実践しながらNIE教育に取り組むことができた。
- 授業内容と連動した発展問題(新聞ワーク)やNIEタイムの取組、各学年の作品掲示を通して、子供たちが新聞に興味・関心をもつとともに、文章を読んで自分の考えを書く力が身に付いてきた。
- 新聞を読んで自分の考えを書いたり、友達と議論したりする活動を多く取り入れた。このようなNIE教育を意図的・継続的に取り組むことで、鹿児島学習定着度調査において全教科で県平均を大きく上回った。

【課題】

- ▲ 本年度でNIE教育実践協力校は終了するが、新聞を使った学びは子供たちにとって学習効果が高いことが実証されたので、今後もNIEタイムの時間を確保し実践に取り組む必要がある。

令和2年度 鹿児島学習定着度調査				
教科	国語	社会	算数	理科
県を100	110	123	136	128